

報道機関に依頼する事項に○をつけてください

①実施する事業の紹介

②催事等の参加者募集

③催事等の当日取材

報道取材情報（沼津市）

平成 30 年 10 月 19 日（金）発表

名称等	日本大学文理学部と沼津市との連携協力に関する包括協定締結式		
実施日時	平成 30 年 10 月 26 日（金曜日） 11 時 00 分～		
場所	市役所 4 階 特別応接室		
担当	企画部 政策企画課		
	直通	055-934-4798	内線 2472

1 内容

本市と日本大学文理学部が、連携協力に関する包括協定を締結するため、締結式を開催します。

(1) 締結式出席者

日本大学文理学部	沼津市
文理学部長 加藤直人	市長 頼重秀一
就職担当 青山清英	教育長 服部裕美子
庶務課長 大和田恭成	企画部長 後藤克裕
	教育委員会事務局教育次長 芹澤一男

(2) 連携対象事項

- ① 教育や人材の育成・交流に関すること
- ② 地域振興、まちづくりに関すること
- ③ 沼津市への若年層人口の定着の促進に関すること
- ④ 国際交流に関すること
- ⑤ 相互理解を促進するための情報の提供及び交換等に関すること
- ⑥ その他前条の目的を達成するため、日本大学文理学部及び沼津市が必要かつ有益であると認める事項に関すること



【日本大学文理学部キャンパス】

2 目的・理由

本市と日本大学文理学部とが連携協力することで、地域の課題に対する学術研究の成果を活かした施策展開などの様々な効果や、双方の発展に寄与することを期待するものです。

3 経緯・経過

日本大学文理学部では、学術研究の成果を活かした社会貢献や、地域との連携を通じた人材育成、就労促進などを目的として、自治体との協定締結を進めており、前身の高等師範科から続く教員養成の伝統を活かし、東京都世田谷区と連携して子どもの発達障害に係る課題に取り組み、大学の実践的な学問探求の機会とするとともに、その研究成果を自治体の施策検討の参考とするなど、様々な成果を上げてきました。

一方本市では、人口減少が喫緊の課題であり、大学進学に伴う転出がその要因の一つとして挙げられることから、大学との連携を強化することにより、転出者を含めた学生に対して、本市への就労及び定住促進などを図りたいと考えております。

4 その他

(1) 本市における教育機関との協定締結実績

- ① 沼津市と独立行政法人国立高等専門学校機構沼津工業高等専門学校との連携協力に関する協定
- ② 静岡県における「地（知）の拠点大学による地方創生事業（COC+）」に関する連携協定（静岡大学、浜松医科大学、静岡県立大学等）

(2) 日本大学文理学部と県内自治体との協定締結実績

平成 26 年 8 月 1 日に、湖西市が締結した 1 件のみ。